

相模原市の「やまゆり園事件」からまる4年が経ちました。先日、ALSの患者さんを、「ご本人の依頼を受けて殺害した」との容疑で、2名の医師が逮捕されるというショッキングなニュースがありました。この事件の動機はまだ捜査段階ですが、事件を生み出した社会的な背景には共通の「空気」があるのではないかと感じました。当事者、家族、主治医は様々な思いを抱え、葛藤し、「命のありかた」を模索していたことと思います。それを一瞬でご破算にしてしまった容疑者を動かしたものは、「いのちを選別する(選別してもいい)」という「空気」であり、その「空気」は、私たち一人ひとりの中に入りこんでいることに、現代の生きづらさがあるように思うのです。医療、福祉従事者は、生きづらさに思いを寄せつつ、何より「生きる」ことを支え続ける立場でありたいと思しました。

## 給食部 草間貴美さん、ありがとうございました！

### これからもよろしくお願いします。

第2コムハウス開設当時から16年以上にわたって、給食部を支えてくださった、草間貴美さん。現在は毎週火曜日に勤務いただいておりますが、8月より給食部職員がお休みされるとき、不定期の勤務となります。

火曜日は「おたのしみメニュー」として、草間さんが献立から材料仕入れ、調理まで、手作りの給食で、なかも職員も本当に楽しみにしています。

「節目」となった今週、草間さんに一同で感謝をおたえする時間を持ちました。草間さんからは「本当に楽しい思い出がたくさんあります」とごあいさつがありました。草間さん、毎週ではなくなりますが、これからもどうぞ、よろしく願いいたします。

